兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R4.4.14
発行
第 388 号

子供たちに直に向き合い、人間関係を築くことの大切さ

校長　高橋 幹夫

４月より姫路聴覚特別支援学校から着任しました校長の高橋幹夫です。古くは、万葉集に「いなみ野」の地名が詠まれ、豊かな自然と田園風景が残るいなみ野特別支援学校に縁あって着任しましたことに喜びを感じています。

さて、令和4年度が始まりました。みなさんにとって、どんな一年になるのでしょうか？わくわく、そしてドキドキしますね。

今年度あおの訪問学級は、小学部に3名、中学部3名の計6名が入学し、小学部9名、中学部7名、高等部4名の計20名の友達でスタートします。先生は竹内教頭先生を含め9名で、子供たちの学びや生活を見ていきます。

私が勤めていた姫路聴覚特別支援学校は、耳が聞こえない、聞こえにくい子供たちが勉強している学校です。子供たちは、手話を使ってお話をしたり、学習したりしています。私も少しばかり手話を使って子供たちと話をしておりました。

また、私が初めて教員で勤めたのも別の聴覚障害の学校でした。それまで聴覚障害の方と関わる機会はありませんでした。手話をはじめ、コミュニケーションが全くとれない私でしたが、子供たちはいろいろと話しかけてくれます。そして、指文字や手話を教えてくれたり、話し言葉をよく聞きとれない私に、繰り返し話してくれたりしました。そのようなやりとりを通して、見ることや聞くこと、伝えること、分かり合うことの大切さを学びました。そして、子供たちと直に向き合い、コミュニケーションを取り、人間関係を築くことがどれだけ素晴らしいことであるかを実感しました。先生と子供という立場に関係なく、同じ目線で関わり合う中で、お互いに学び合い、高め合うこと、切磋琢磨することがとても大切であります。

あおの訪問学級の皆さんと早くお会いして、お話ができたらと思いますが、コロナ感染防止のため、まだまだ来ることができません。コロナ感染拡大が一日でも早く終息し、皆さんとお会いし、お話ができる日が来ることを願っています。皆さんにとって、この新しい学びや生活が、楽しく、幸せで、生きがいが感じられるようになることを願っています。

よろしくお願いします～令和4年度のあおの訪問学級～

人事異動があり５名が転出し、５名が転入しました。令和４年度の学級体制を紹介します。

竹内 雅彦＜教頭＞				
グループ	あおぞらグループ		のはらグループ	
教員	村田 友理	久後 康代	西山 雅美	寺田 真一
	冨樫 寛子	北山 友紀	合田 尚美	市川 紀子
小　学　部	男１名	女４名	男１名	女３名
中　学　部	男１名	女３名	男２名	女１名
高　等　部		女１名	男１名	女２名